ドラマ『風雲児たち〜蘭学革命篇〜』出演

片岡愛之助さん、新納慎也さんが来学

『解体新書』の原本を前に ドラマへの意気込みを語った

2017年8月、NHK正月時代劇『風雲児たち〜蘭学革命篇〜』にて前野良沢を演じた片岡愛之助さん、杉田玄白を演じた新納慎也さんが東京医科歯科大学を訪れ、合同記者発表を行いました。その際に本学所蔵の『解体新書』の実物に触れたお二人は、前野良沢と杉田玄白の当時の苦労を偲び、感慨深い様子でした。ドラマは好評のうちに終了しましたが、そのときに行われたお二人の貴重なインタビューをお伝えします。

杉田玄白役の新納慎也さん

前野良沢役の片岡愛之助さん

―前野良沢と杉田玄白という人物についてどのような印象をお持ちですか？

愛之助 先ほど本物の解体新書を見せていただきました。情報量が多く、図版一つひとつがとても丁寧に描かれていることに驚きました。

新納 細かな臓器の場所も分からなかった時代にあれだけのものを作るのは本当に大変だったでしょうね。

愛之助 解体新書といえば〝杉田玄白〟だと思っていたので、前野良沢についてはあまり詳しく知りませんでした。このドラマを通じて、前野良沢らが解体新書の誕生にいかに貢献したかを知ってほしいと考えています。

新納 杉田玄白については、生真面目で優秀な医師という印象を抱いていました。しかし、漫画を読むと随分イメージが違って、実はアバウトな一面もあったり社交的な性格だったりしたようなのでドラマも楽しい内容になりそうです。

―このドラマは医療の現場からも注目されています。医療に従事する人へのメッセージをお願いします。

愛之助 歌舞伎という伝統芸能では、先輩たちが作ってきたことを受け取り、忠実に倣い、そして次世代に繋げていくことが基本です。その反面、歌舞伎は「傾く（かぶく）」という言葉を語源としており、新作歌舞伎や海外公演など常に新しいことに取り組んでいます。伝統を受け継ぎながらも歴史の1ページに残るような作品を生み出せればと日々の舞台を務めていますが、医療もきっと同じだと思うんです。解体新書ができ、それを次世代の人たちに伝えて繋いできて、さらに最新技術ができて、昔ならば治せなかった病気も治せるようになりました。ですから、医師の方や医療に携わる方々にも新しいことに取り組んでいただき、1人でも多くの命が救えるようにしてもらえたらと願っています。

新納 私は関西の出身です。家族が病気になったときにお医者さんと接してみると、いろんなタイプの方がいると改めて感じます。モニターを眺めて冷静に説明するお医者さんもいますが、例えば地元の病院では「どないした？」とか「あぁこれなら問題ないわ」と笑い飛ばす感じで、そんな態度がかえって安心させてくれる気がします。人間味のある態度で接してくれる病院がもっと増えてくれればなと思います。

愛之助 僕たちも、見る人たちに人間味を感じてもらえるよう前野良沢、杉田玄白を演じたいですね。B

第16回 杉田玄白賞を受賞!

2017年12月9日（土）に第16回杉田玄白賞を大学院医歯学総合研究科分子細胞代謝学分野の小川佳宏教授が受賞した。この賞は、小浜藩医で「医食同源」の思想を展開した杉田玄白の功績を記念して小浜市が、食と医療、食と健康増進、食育と地域活動をテーマに優れた研究や活動をした人や団体を対象に毎年募集し選考の上で授与している。